

産山小・中学校 コミュニティ・スクール

We have a dream

地域、家庭、学校、協働で進める『学校運営協議会』



● 産山村立産山中学校

〒869-2703 熊本県阿蘇郡産山村 477 番地

☎ (0967) 25-2013

Fax(0967) 25-2939

✉ ubuyamaj@vanilla.ocn.ne.jp

● 産山村立産山小学校

〒869-2703 熊本県阿蘇郡産山村 476 番地

☎ (0967) 25-2012

Fax (0967) 25-2017

✉ asoyamaga@plum.ocn.ne.jp

<http://www.higo.ed.jp/jhs/ubuyamaj/>

産山のコミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第47条の5に規定する学校運営協議会です。

学校運営協議会は、学校運営に関して、産山村教育委員会及び校長の権限と責任のもと、保護者及び地域住民の学校運営への参画の促進や連携強化を進め、学校と保護者、地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むものです。

産山のコミュニティ・スクールは小中一貫教育を推進するために、保護者や地域住民の声を適切に把握し、学校運営に反映させる産山村に適した「学校運営協議会」として学校を応援しています。

学校運営協議会

	産山小学校・産山中学校 運営協議会委員	
	産山小学校	産山中学校
運営協議会長	互選	
保護者	PTA会長	PTA会長
地域住民	広げ隊(1名) 暮らし隊(1名) 伝え隊(1名) 学び隊(1名)	
校長	小学校校長	中学校校長
教職員	小学校教頭	中学校教頭
学識経験者	1～2名	
関係行政機関の職員	社会教育主事	事務局長
その他(教育委員会が適当と認めるもの)	若干名	

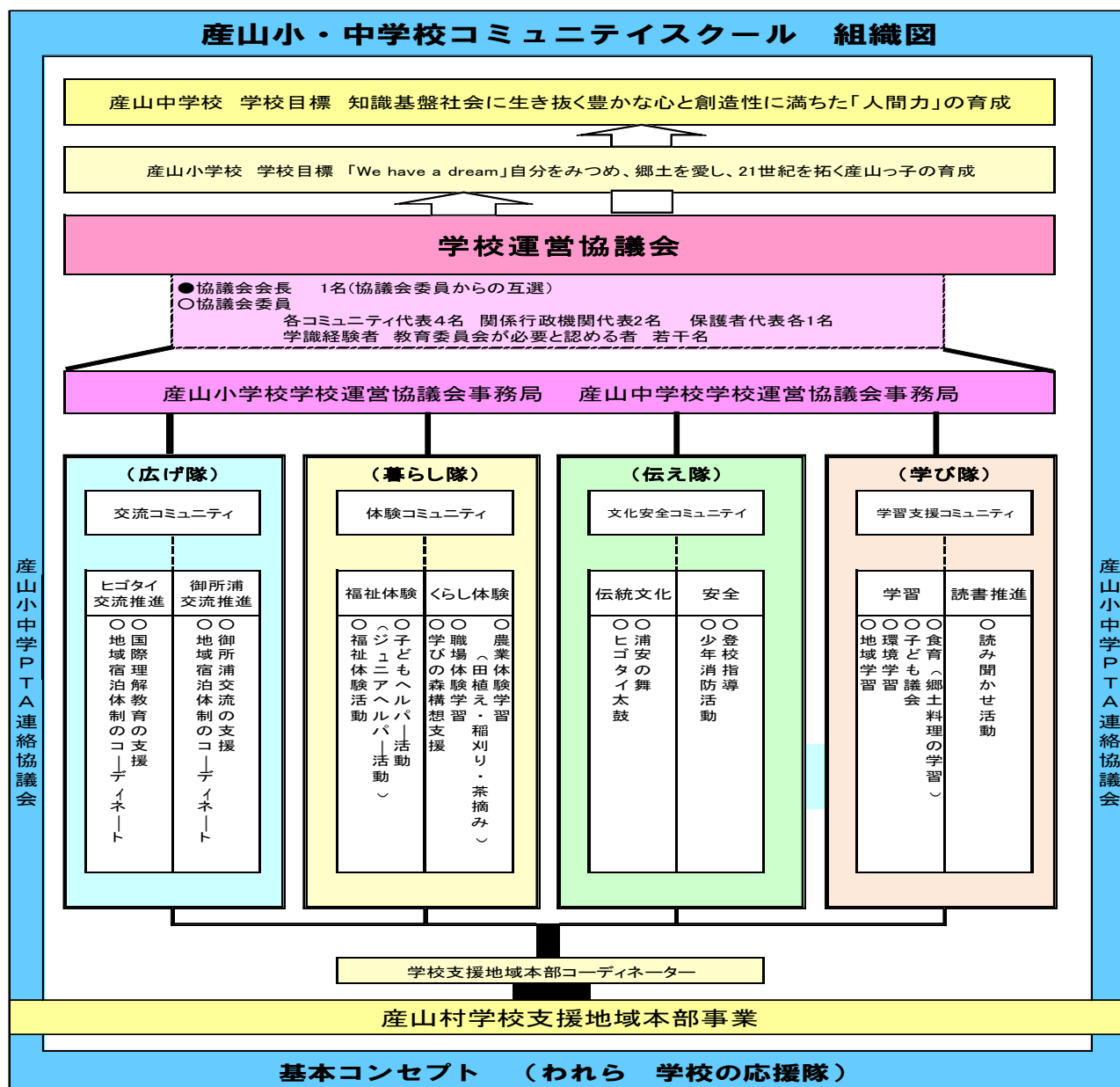


学校運営協議会は、地域代表、学校代表、学識経験者等で構成され、学校の教育活動について審議します。委員からの意見をもとに学校運営の改善を図ります。

小中一貫教育について

産山村では、平成16年度より2学期制を導入し、平成19年度からは構造改革教育特区の認定を受けた小中一貫教育をスタートしました。産山村の独自の教育改革を推進していくために、学校、家庭そして地域の連携が不可欠です。

平成21年度からは、教育課程特例校として小中一貫教育を継続しています。



われら学校応援隊

それぞれの地域の応援隊が「学校運営協議会」を支えます。

◆交流コミュニティ (広げ隊)

交流活動を通して、他地域や他国の文化や伝統を理解し心の交流を深め、国際社会の一員としての自覚と故郷「産山」や日本の伝統文化を深く学ぶ場とするための支援を行う。

◆体験コミュニティ (暮らし隊)

体験を通して、福祉や将来の進路に関心をもち、自分たちの暮らしや生き方を考えるための支援を行う。

◆文化・安全コミュニティ (伝え隊)

産山村の伝統文化を守り伝えていく心を養い、産山村の地域安全を守る活動を通して、産山を愛する心を育てるための支援を行う。

◆学習支援コミュニティ (学び隊)

環境学習や食育や地域学習の支援を行ったり、読書に親しむ態度を育てたりする支援を行う。

産山小・中学校 コミュニティスクール 年間計画

月	広げ隊			暮らし隊		伝え隊		学び隊		協議会
応援隊	ヒゴタイ交流	御所浦交流	地域宿泊	福祉体験	くらし体験	伝統文化	安全	学習	読書推進	内容
4	受け入れ準備				田植え		登校安全	地域学習		
5				子ども・ジュニアヘルパー	鯉農法茶摘					● 承認
6				子ども・ジュニアヘルパー	田植え			子ども議会		
7		受け入れ派遣準備		子ども・ジュニアヘルパー		浦安の舞				
8		交流活動			職場体験	ヒゴタイ祭り	少年消防	川の学習		
9	受け入れ準備			子ども・ジュニアヘルパー	収穫					
10	交流受け入れ				稲刈り	浦安の舞		郷土料理教室(中)		
11				子ども・ジュニアヘルパー				郷土料理教室(小)		● 評価
12				子ども・ジュニアヘルパー				郷土料理教室(小)		
1							少年消防			
2				子ども・ジュニアヘルパー修了式	しいたけ栽培			環境学習		● 最終評価
3	派遣準備				土作り					● 意見具申

交流活動の支援

学びの森学習支援

登下校の安全確認

朝の読書活動読み聞かせ支援